

総合整備計画書

大阿仁辺地

(辺地人口 1,012人、面積 70.5km²)

1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 阿仁萱草、阿仁根子、阿仁伏影、阿仁笑内、阿仁幸屋、阿仁幸屋渡、阿仁比立内、阿仁長畑、阿仁戸島内、阿仁中村、阿仁打当
- (2) 地域の中心の位置 阿仁幸屋渡字上添根76-4
- (3) 辺地度数 136点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、国道105号沿いの7集落394戸及び県道河辺阿仁線沿いの4集落101戸で構成される辺地である。

当辺地は特別豪雪地帯であり、除雪機械は必要不可欠である。しかし、現在所有の機械2台については、平成5年、平成7年に購入したものであり、耐用年数が経過し老朽化による修理費も年々増加している。また、シーズン中に故障が発生した場合は作業に著しく支障をきたすことが想定される。このため、地域住民の安全かつ円滑な冬期交通を確保するため、除雪機械の更新を図るものである。

当辺地内の橋梁及びトンネルは当地域と市街地を連絡するために欠くことの出来ない橋梁及びトンネルであり、交通の安全を図るため、損傷状況を確認しながら計画的に補修を行い、長寿命化を図るものである。

市道幸屋線は、当市の産業振興のために欠くことの出来ない道路であるが、路肩及び横断暗渠の損傷があり、安全上の問題がある。このため、これらの損傷箇所の改善を行い、安全性を確保するものである。

当辺地の水道施設は、昭和50年代に簡易水道事業で整備された施設であり、老朽化が著しく配送水管の経年劣化に伴う漏水等が多発している。このため、必要な施設整備を行うことで、生活に欠くことのできない安全・安心な飲料水の安定供給を可能とするものである。

当辺地の消防水利は充足率が低いことから、防火水槽を設置することにより、未整備地域及び冬期水利不足地域を解消し、火災発生時の延焼拡大防止と被害の軽減を図るものである。

3. 公共的施設の整備計画(令和2年度から令和6年度まで5年間)

(単位:千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額	備考
			特定財源	一般財源		
除雪機械	市	89,000	0	89,000	88,400	・除雪グレーダ4.0m級 1台 ・除雪ドーザ14t級 1台
橋梁及びトンネル	市	539,217	328,461	210,756	201,700	・伏影橋補修事業 ・牛滝橋補修事業 ・鳥坂橋補修事業 ・外ノ倉橋補修事業 ・幸屋橋補修事業 ・榎森トンネル補修事業
市町村道	市	44,087	0	44,087	44,000	・市道幸屋線改良事業
飲料水供給施設	市	138,160	0	138,160	69,000	・配送水管布設 L=2,060m ・監視システム整備事業
防火水槽	市	13,739	2,743	10,996	10,900	・防火水槽工 耐震40m ³ 型